

技・家だより

令和7年度 第2号 通巻188号
発行
愛媛県教育研究協議会技術・家庭委員会

『次期学習指導要領に向けて』

愛媛県教育委員会 義務教育課 指導主事 楠本 千恵

1 はじめに

現在、中央教育審議会教育課程企画特別部会において、次期学習指導要領に向けての議論が進められています。昨年9月に公表された論点整理には、次期学習指導要領に向けた今後の検討の基盤となる基本的な考え方として、

- ① 「主体的・対話的で深い学び」の実装
- ② 多様性の包摂
- ③ 実現可能性の確保

が、提起されました。この3つの基本的な考え方を受け、昨年12月に教育課程部会家庭ワーキンググループから、家庭科の資質・能力の育成に関する論点が示されています。技術・家庭科教育が大きく変わろうとしている今、改めて現行の学習指導要領の内容を再確認し、家庭科、技術・家庭科の学習を通して子供たちにどのような力を身に付けさせるのかを考え、授業改善につなげる必要があると考えます。

2 これまでの取組を振り返って

現行の学習指導要領が施行されて以降、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、様々な観点から授業改善を行ってきていただいていることと思います。今年度の教育課程理解促進研修後のレポートを見ると、課題設定のために、家庭での調査やインタビューを取り入れたり、Webサイトを活用したりしている事例が多く見られました。また、課題解決のために、調べ学習やグループでの活動、体験的な活動等を取り入れるなど、学習活動にも工夫が感じられました。そして、意見交換や思考を可視化し整理する場面など、授業の様々な場面で一人一台端末を活用しているほか、生活をよりよくするために、自分にできることを考える時間を設定するなど、問題解決的な学習を取り入れた授業が進んでいます。また、多くの先生が課題と感じていた、生活の中から問題を見いだして課題を設定して取り組む活動にも、工夫しながら実践を積み重ねていただいています。

次期学習指導要領では、最初に示したように、基本的な考え方として「『主体的・対話的で深い学びの実装』」が提起されています。これは、現行の学習指導要領が目指す方向性を一層深めるということです。そこで、現在、先生方が実施されている授業改善を更に一歩進めるために、次に示す4つの視点を参考に取り組みを振り返ってみてください。

- ① 児童生徒が「解決したい」と願う課題が設定されているか。

- ② 児童生徒にとって必要感のある学習活動（話し合いやグループ活動等）が行われているか。
- ③ 「知識及び技能」は生活の中で活用できるものとして確実に習得されているか。
- ④ 家庭や地域での実践が「やりたいもの」になっているか。

学習の主体は児童生徒であるということを常に心に留めて、児童生徒が自ら取り組んでみたくなる授業を目指したいものです。

3 現在議論されている内容

現在、家庭ワーキンググループにおいて議論されている、家庭科の資質・能力の育成に関する論点は大きく4つあります。

1つ目は、「領域の整理について」です。家庭科として必要な概念の習得に繋がるよう、各領域の系統性を高める方向での見直しが進められています。

2つ目は、「目標の在り方について」です。中学校の技術・家庭科が「情報・技術科（仮称）」と「家庭科」に分かれることが示されており、家庭科としての新たな目標を検討することが必要となっています。

3つ目は、「見方・考え方について」です。「各教科の本質的な意義」という観点を踏まえ、家庭科の本質を示す事項を示したり、小・中・高等学校を通じて統一的に示したりすることが検討されています。

4つ目は、「高次の資質・能力の在り方について」です。「深い学び」を実現する題材作りのイメージを教師が持てるよう、領域ごとに明記する具体的姿について見直しが進められています。

現行の学習指導要領との相違点に着目しながら、今後の国の審議の動向にも注視してみてください。

4 おわりに

昨年8月に実施した夏季研修会では、家庭科・家庭分野における課題等について話をしました。日々の授業の中で、子供たちの「なぜ」を引き出す問いを大切にしながら、実感を持った理解ができるよう、実践的・体験的な活動等を充実させるなど、授業改善を続けていきたいと思っております。そして、次期学習指導要領に向けた基本的な考え方にも目を向けながら、多様な子供たちの深い学びを確かなものにするとともに、一人一人の「好き」（興味・関心）を育み、「得意」を伸ばしながら、主体的に学びに向き合える子供たちを育成していきましょう。

各管区の一年間の取組

技 術 分 野

【 中 予 管 区 】

「今年度を振り返って」

松山市立小野中学校 小田 祐太郎

夏季実技研修会では、東京学芸大学こども未来研究所の吉村健志先生を講師にお迎えし、内容C（エネルギー変換の技術）における動力伝達について、TECH未来を活用した研修を行いました。研修では、TECH未来を用いた「電気自動車」の実習を通して操作方法を学んだ後、第35回松山市教育研究大会3年次研修での授業内容について、吉村先生とともに検討する時間を取りました。当日の授業でも内容Cの動力伝達を題材に課題解決的な学習を行う予定であり、今回の研修を通して生徒に取り組みせる活動の具体的な見通しを得ることができました。今後も「費用面を含め、どの学校でも実践しやすく、学習指導要領に適した題材であること」を大切にしながら、より幅広い研修内容を提案していきたいと考えています。1年間大変お世話になりました。今後ともよろしく願いいたします。

【 東 予 西 管 区 】

「夏季実技研修会に参加して」

今治市立菊間中学校 南條 元皇

8月7日に愛媛県立今治南高等学校日高農場で東予西管区の夏季実技研修会が実施されました。

「簡易的な野菜栽培の実践方法」の講義では、非破壊糖度計を使用して、メロンの糖度を実際に計測しました。また、中学校でも実践できる野菜の栽培方法について紹介していただき、栽培における指導方法や評価についても講義していただきました。

「多肉植物の寄せ植え」の実習では、多肉植物の種類や生育方法について講義していただき、その後、実際に高校生が生育している多肉植物を鉢に寄せ植えし、一つの作品を作成しました。

栽培における専門的な知識や技能、中学校で実践できる栽培方法など、教えていただいた内容を授業に活用していきたいと思いました。



【 東 予 東 管 区 】

「1年間の活動を振り返って」

四国中央市立川之江北中学校 山川 修平

今年度も「横のつながり」を大切にして活動しました。夏季実技研修会では愛媛大学から講師を招き、「micro:bit」を活用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングについて学びました。授業づくりのポイントについて、研修を通じて専門的な知識を深めつつ、市外の先生方と交流できる貴重な場となりました。また、本市では日頃からチャットを活用して情報交換を行っています。教科の専門的な相談が校内ではできないのが実情ですので、学校を越えて気軽に相談できることは大変効果的で、若年の先生方のサポートにもつながっています。来年度以降、市外の先生方とも交流できるチャットスペースを作れないか検討中です。

【 南 予 管 区 】

「夏季実技研修会を終えて」

八幡浜市立保内中学校 中道 大和

南予管区では、7月30日に山崎教育システム株式会社の鈴木淳一様、大村教材の大村仁志様を講師に招き、「材料と加工の技術」と「情報の技術」の統合的な学習の一つとして、3DCADを利用した作品の設計を行いました。これまで時間を掛けて紙媒体で製作させていたものが、1時間程度で作成できたり、可視化できたりするのはとても魅力的でした。また、正投影図や木取り図の学習にもつながっていて、効果的な教材だと感じました。

後半は、コミスク愛媛の一員として地域でドローン教室を開催されている村上剛校長先生、柳澤義文様を講師に招き、ドローン教室を行いました。プログラミング学習の導入として有効な教材であり、工夫をすれば他分野との統合的な学習につながると感じました。

技術科で身に付けさせたい力を念頭に置き、今後も管区内の教員が情報を共有し、更に充実した研究会を目指したいです。



家 庭 分 野

【 中 予 管 区 】

「先生たちが学ぶ喜びを感じる調理実習（夏季実技研修会）」

松山市立勝山中学校 中矢 敏子

今年度の夏季実技研修会は、河原調理専門学校の近藤和之先生を講師に迎え、調理実習を行った。今回は、肉料理・魚料理・デザートまで、すべて「蒸す」料理を教えていただいた。献立は「ムサカ」というトルコ（ギリシャ）料理、茶そばで鯖を巻いて蒸す「鯖の信州蒸し」、「クリームブリュレ」の3品を作った。過程を丁寧に教えていただきながら楽しく調理に取り組むことができた。近藤先生が、「家族と一緒に食事を楽しむ幸せな時間は長くは残っていない」と話された言葉が印象に残った。この実技研修会を通して、「丁寧に作って、みんなで楽しく食べる」という、食に対する基本的な姿勢を学び、今後も食の大切さを生徒に伝えていきたいと改めて思った。



【 東 予 東 管 区 】

「夏季実技研修会を開催して」

四国中央市立三島西中学校 渡部 奈津子

今年の夏季実技研修会は、午前中、四国中央市保健センターの大西様、阿部様にご協力いただき、「地元の食材を使った栄養バランスの良い献立」のテーマで、調理実習を行いました。管区内の家庭科の先生方のみならず、免許外で家庭科を担当されている先生、また、本部の先生方にも参加していただき、賑やかな会となりました。当日のメニューは、夏野菜のキーマカレー、小松菜とジャガイモのコンソープ、手作りドレッシングの野菜サラダ、キウイソースのブラマンジェでした。どれも地元の野菜がたくさん使われており、美味しくいただきました。簡単に調理できるメニューなので、中学校の調理実習にも取り入れたいと思いました。

午後からは、四国中央市立三島東中学校の渡部先生が中・四国大会で発表された内容について協議を行いました。先生方から多くのご意見やご感想をいただき、より発表内容が深められたのではないかと思います。その後、生徒作品の審査や、各校の取組について意見交換を行うなど、大変有意義な時間となりました。お忙しい中、時間を割いて参加してくださった先生方、本当にありがとうございました。



【 東 予 西 管 区 】

「夏季実技研修会」

西条市立東予東中学校 竹内 由美子

7月29日、東予東中学校にて夏季実技研修会を実施しました。

午前中は西条市経営戦略部の深見様を講師に迎え、避難所運営ゲーム(HUG)を行いました。私達が運営者となり、避難者の事情を考慮した部屋割り、生活空間(炊出し場、仮設トイレ)、資源(食料、水、医療)、視察や取材対応等に対して、話し合いました。避難所運営の複雑さと限られた資源の中で意思決定を下すことの難しさを体感しました。自分に何ができるか、普段からどのような備えが必要かを具体的に考えることの大切さを再確認しました。



午後からは株式会社トップマンの松原様、中田様を招き、リメイク教材を使ったSDGsに関する実技研修を行いました。再利用する意義・価値と、楽しく制作しアイデア豊かで個性あふれる作品(トートバック)に、愛着や感動を味わうことができました。

今後も管区内の先生方と情報共有を行い、より充実した教育活動の実践につなげていきたいと思ひます。

【 南 予 管 区 】

「夏季実技研修会を終えて」

宇和島市立三間中学校 山口 留美

夏季実技研修会では、愛媛県総合教育センターより田頭和美指導主事をお招きし、「確かな学びをつくる授業づくり～思考力・判断力・表現力等を育む授業づくり～」について講義をしていただきました。講義では、今後は、「どのように教えるか」から「どのように生徒が学ぶか」ということに視点を変えて、授業実践をしていくことの重要性を学びました。また、生徒一人一人に情報編集力を身に付けさせ、「万人の正解」ではなく、「各自の納得解」にたどり着くための学習視点について学びました。今後は、「ジグソーパズル型学力」から、「レゴ型学力」への変化に教師自身が対応し、技術・家庭科の学習を通して、生徒の思考を広げ深めることができるように授業実践に取り組んでいきたいと思ひます。

午後からは、生徒作品展の審査を通して、被服製作の指導のポイントや悩みを共有したり、南予管区の今後の研修の方向性について確認をしたりしました。今後も各研究発表会への参加を軸として、管区が一丸となって研修を深めていきたいと思ひます。

**第25回全国中学生創造ものづくり教育フェア
創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会
愛媛県大会**

令和7年11月23日(日)に伊予市立港南中学校で「第25回全国中学生創造ものづくり教育フェア 創造アイデアロボットコンテスト全国中学生大会 愛媛県大会」が行われました。

基礎部門、計測・制御部門、応用・発展部門の3部門が行われました。参加者の工夫や思いが込められたロボット、そして、仲間とのチームワークを生かした戦術があり、多くの熱戦が繰り広げられました。競技の後には、他校生との交流を通してお互いの健闘を称える場面が多く見られました。

予選リーグ、決勝トーナメントを経て、以下の結果となりました。

賞	チーム名	学校名
ロボコン大賞	H2	伊予市立港南中学校

【基礎部門】

賞	チーム名	学校名
1位	つくし	八幡浜市立保内中学校
2位	KR	八幡浜市立保内中学校
審査員特別賞	Nozomi64	愛媛大学教育学部附属中学校
審査員特別賞	I'm sleepy	八幡浜市立保内中学校
審査員奨励賞	からあげくん レギュラー	愛媛大学教育学部附属中学校

【応用・発展部門】

賞	チーム名	学校名
1位	H2	伊予市立港南中学校
2位	テクノロジー	伊予市立港南中学校
審査員特別賞	全カクラフト	伊予市立港南中学校
審査員特別賞	FD235	伊予市立港南中学校
審査員特別賞	AI	伊予市立港南中学校
審査員奨励賞	Zn	愛媛大学教育学部附属中学校

【制御部門】

賞	チーム名	学校名
1位	三崎ファイターズ	伊方町立三崎中学校
2位	やまとなでしこ	伊方町立三崎中学校
審査員特別賞	タコツボ	伊方町立伊方中学校
審査員特別賞	チョコiQ	愛媛大学教育学部附属中学校
審査員特別賞	A2	八幡浜市立保内中学校
審査員奨励賞	小さな巨人	伊方町立瀬戸中学校
審査員奨励賞	せとりん	伊方町立瀬戸中学校

参加したチーム、また、ご指導して下さった先生方、本当にありがとうございます。愛媛県のロボコンがより一層盛り上がることを期待しています。



お知らせ

広報局より

日頃より「技・家だより」を見ていただいているすべての方々に感謝申し上げます。

この度、ご多用の中、愛媛県教育委員会義務教育課指導主事 楠本 千恵様をはじめ、各管区長の先生方に原稿をご執筆いただき、「技・家だより」を発行することができました。

ご協力いただいた先生方、誠にありがとうございました。

広報局では、愛媛県技術・家庭科委員会Webページを運営しています。<http://ehime-gika.com/hp/>

こちらに、「技・家だより」や愛媛県の技術・家庭科に関わる情報、先生方の取組等を掲載しています。

また、今年度から愛媛県の技術・家庭科の先生方が執筆された「R7実践集録」もホームページに掲載しております。閲覧方法については、県内の技術・家庭科に関わる先生方にご案内いたします。

今後も、愛媛県の技術・家庭科の先生方のご活躍を発信していきます。

